



Ephemeral Love

R-18

CONAN FANBOOK #002 AMURO (RYE X TOURBON) PRESENTED BY MILONGA

降谷君という男は

友人の目から見ても
よく出来る男だった

学生時代の成績は
常にトップ

あんなにやる気のある男を
そうなくくはない

四時までに
十二分に準備がた

何も不自由ないように
見える彼だが

人間として
重要な部分が
欠けているようだった

一

恋愛感情の
欠落



じゃあ
それで宜しく
パーボン

相変わらず
すげー格好

故に
異性にも
何の興味も
ないようだった

いいなあ
何も
感じないやつは

うわ……

……いや
良いものでも
ないか



彼は
恋をしたことがない
と言った

それが
先天的なものか
昔のトラウマから
くるものかは
知りかねたが

あんなに
暖かな感情を
知らないのは
寂しいことの
ように思えた



いつかこいつが
恋を出来る日が
来たら
心の底から
祝ってやるんだ

行くぞ
スコッチ



ああ

一番の
友人として



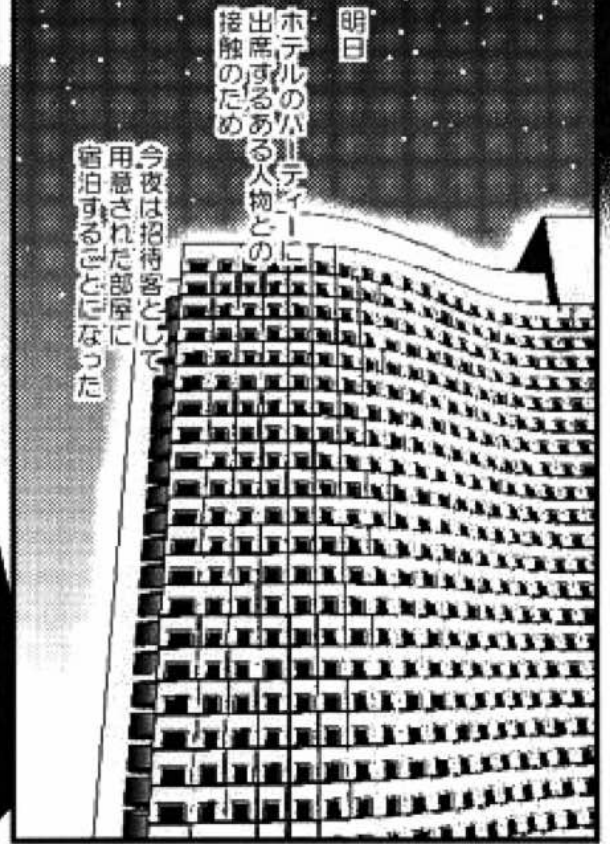
バーボン



例の件について
少し話が

…ああ…

そついや先週
二人でシンに
呼び出されてたっけ



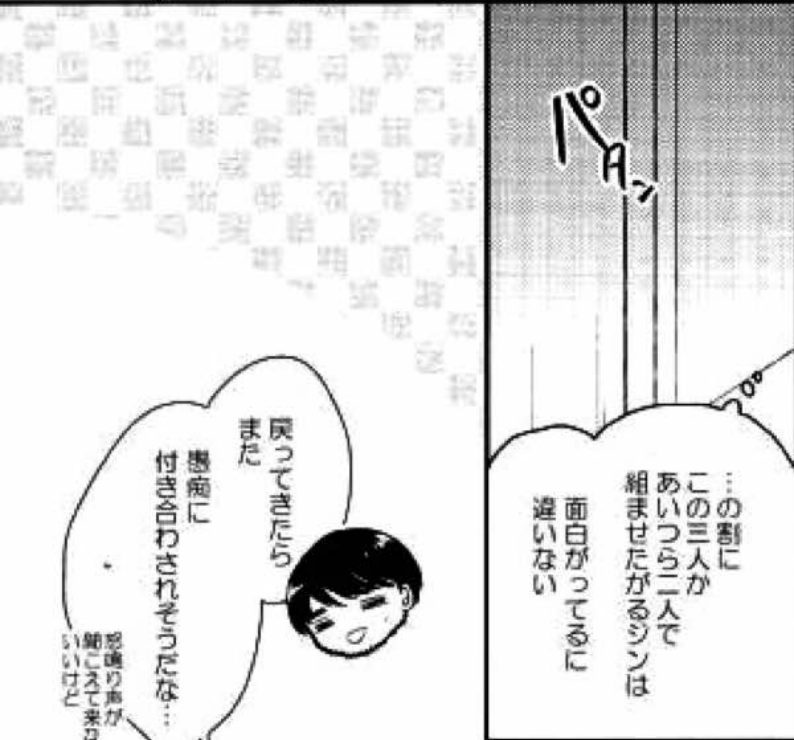
明日

ホテルのパーティに
出席するある人物との
接触のため

今夜は招待客として
用意された部屋に
宿泊する予定だった



先に
戻ってるな



…の割に
この三人が
あいつら二人で
組ませたがるシンは
面白がってる
面白い

戻ってきたの
また

「僕も」
付合わねえぞいな…

感嘆の音が
聞こえて来るまで
いいけど



誰とでも
そつなく付き合う
彼だが

珍しく「ライ」とは
馬が合わないようだ



んっっ

ふ...

んんっっ

ホっ

んん

ああっっ

ライっっ

待つてっっ

スコッチに
酔ってるっっ

—幼いころから

性的な視線を
向けられることが
多々あった



そのせいだ

ある日突然
こいつに
キスされた時も

嫌なら
殴ってくれ……

ああ
またか
としか思わなかった

抵抗しなかったのは
情報を聞き出すために
この身が役立つのなら
使う他ないと
思ったからだったが

こいつは
今日に至るまで
何も言わない

そもそも
あのキスと発言だけで
十分な脅しの材料には
なっただけではないか

なのになぜ
未だに拒めずに
いるのか

あの日の
キスの意味は？

疑問は絶えず

眠れなくなるほどだ



俺は
バード

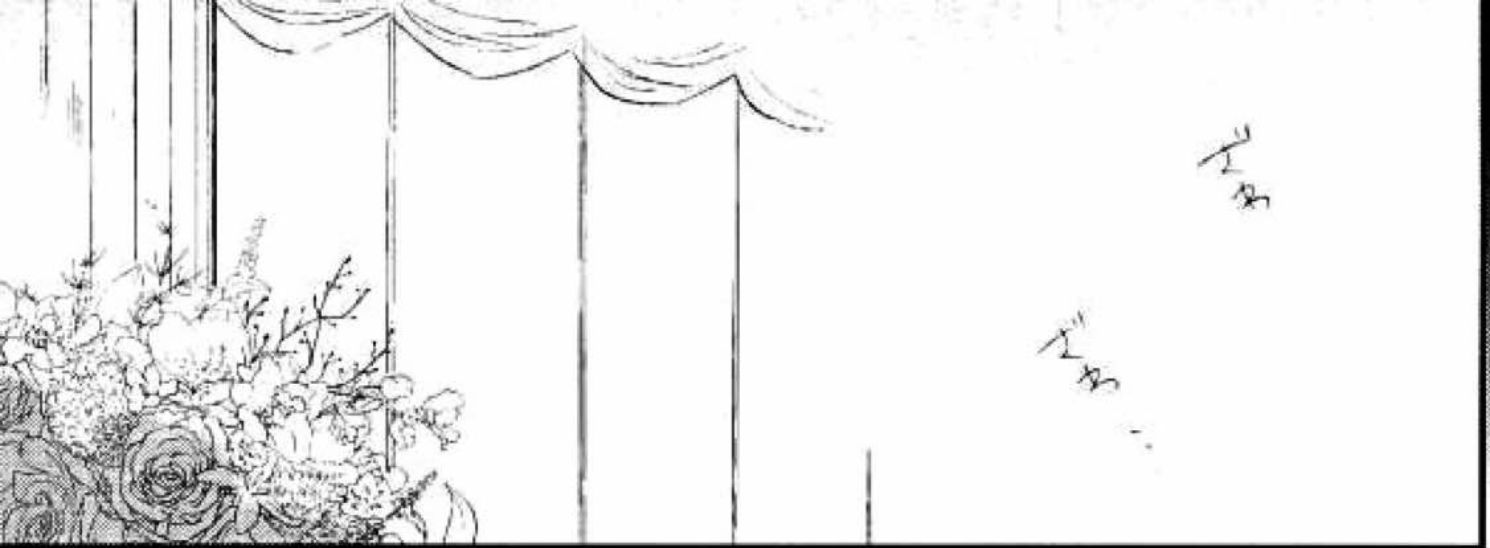
バーボン……っ

恋をしている
のだろうか？

接触は
俺一人は

お前たちは
ブツの回収を頼む

了解



昨日も遅くまで話し合いしてただろ？

…ああ



大丈夫かなあ
顔色悪かったけど



まあ
そうだな
とだけ



最近よくあんな願してる
何かでも
悩みでも
あるのかねー



…君は
えらくパーボンと
付き合いが深そうだな



そういうおまえも
他の奴らとは
少し違う匂いがある



出会う場所が
違えば
友人になれていた
かもしれないな



あいつとは
相性悪いみたいだけど



.....



ノイズが
ひどいな

気付かれたか



キレイな
顔だね



ありがとう
ございます

まさか
君みたいな美人に
来て頂けるとは



生憎俺は
気持ち悪い視線には
敏感なんだ

やはり
こういう
趣味だったか

どうでもいい奴
の行為は

昨日も
したのだから

下手に
攻撃するのモ
気が引ける
適当に相手でも
して睡をつぐか

何だこの
嫌悪感…

…おや
どうした
んだい？

あわ…っ

案外
初心なのかい？

安心していい
優しくすると
約束しよう

まるで

昔みたいなの

嫌だ…ッ







例の物は
回収した

君が
引きつけておいて
くれて助かった

スコッチは？

部屋だろう

ベルモットへ
報告してくれている



…なんだそれ

—でも

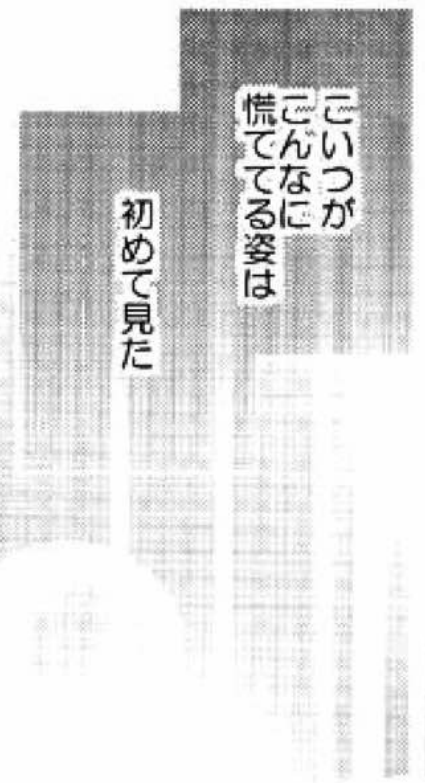


休め
ゆっく
り



…今なら何が
分かりそうな気がする

どうして
こいつとの行為を
拒めずにいるのか
ずっと考えてた



こいつが
ごんなに
慌てる姿は

初めて見た



無性に
さいつに
触れたい

ライ

やめろ

度々向けられる
性的な熱い視線に
好意が含まれてると
知った時
人を愛することに
嫌悪感を
覚えるようになった

気持ち悪い視線と
自分が大好きな人に
向ける気持ちだが
耐えられなかった

恋なんて
する必要ない

ずっと
そう思っていたのに

もう少し顔色が
良くなってから…

…今更俺から
離れようなんて

絶対許さない

この
抑えられない
熱い感情はなんだ





気持ち悪い……



しかも




……さっほの
こいつとは
キスも出来る




……君は

も……
ライ……




スコッチとも
関係を持っているのか



彼は
君の事を
良く見ている

君の事を
大切に想ってるのが
俺でも分かる


はあ!?



そんなわけ
ないだろ…っ

こんなこと
おまえしか…っ

俺にももつと
君の事を教えてくれ



君を
愛する気持ちは
負けたくないんだ



…おまえ
やっぱり

俺の事が
好きだったのか…



……今更
何言ってるんだ

だって
聞いてない…っ

「なん
てさぶ
るんか？」



好きでもない
相手を
あんなに
焦って助け
ない
だろ

で
さび…っ



さつきも
やめろって…

スコッチに
君の顔色が悪いと
指摘を受けたんだ
昨日は
睡眠不足に
させて
悪かったな

君は今まで
何のつもりで
いたんだ？

俺のキスを
受け入れてくれた
時点で

同じ想いなのかと
思っていたが



違うのか？

俺以外とは
キスも
出来ないんだらう？

それに



いつも
気持ちよさそうだ

ああ……っ



同じ……

想い……



あ
待って……っ



こんな
熱い視線が
恋じやないなら

なんて言うんだ？

熱い視線



愛情表現が
希薄だとは
思っていたが

まさか
自覚がなかったとは



ライ……

だめ……

入る……

ん……

ライ……

つてほ……

そわ……

……

ん？



仕事中も

行為の最中も

こいつからの
視線に

不快感を
感じたことはない



心地よ……





ちょっと待って

俺なんか…

変…

ライ…も…

だめ…



俺はもう君に出逢ってからずっと変だ

変になつちや…

ん



内臓が全部潰れそつて

細胞まで一つ残らず食へられてしまひそうなる

熱い思い

これが恋だこらうかな

あっ
まじっ
っ……っ

おかしくなる……っ

俺には
到底

二度目の恋は
出来そうにない







はっ

え
……

ハルボンは
製法の中で

内側を焼き焦がした
オリーブ樽に詰め
2年以上熟成を行う

その間に
焦げた樽の成分が
ウイスキーに溶け込み

化学変化により
のびのびとした
出来上がりになった



初恋がこつちも
茨の道とはなあ

ラバー
ライポン

彼の内側にも
ずっと熱い想いが
眠っていたのかも
知れない



でも
親友として
応援しないわけには
いかないだろ？

次の計画は
バンドマンに扮して
行くのはどうだ？



たとえそれが
惨い一時だとしても

CONAGS FARROCK #012 8:21 AM
MORNING
MIDNIGHT
EVENING
DARK

Spilling
Ink
Love